

今号の表紙

蟹江城址

蟹江城は永享年間（1429～1440）北条時任が築城したといわれています。本丸・二ノ丸・三ノ丸の三郭があり、大野城・下之市場城・前田城の3つの支城がありました。天正12年（1584）に秀吉軍と織田・徳川連合軍によるこの城をめぐる蟹江合戦がおり、織田・徳川連合軍が勝利しました。城は翌年に起きた大地震で大破し、現在は石碑と本丸井戸跡があるのみとなっています。



2013.2.1
No. 143

町議会からKanieのあなたにお届け



★CONTENTS★

12月定例会・臨時会特集号

議会基本条例制定に向け、
半田市議会を行政視察

12

ぜんきょうレポート
総務民生
防災建設 常任委員会の審査

11



議員8人

いっばん質問

4

町政を問う

選挙管理委員
選挙管理委員補充員
を選出

3

第二学土地地区画整理事業完了
地方自治法改正に伴う関係条例の改正

2



特集

12月定例会の主な内容

第二学戸土地区画整理事業完了 地方自治法改正に伴う関係条例の改正

選挙管理委員 選挙管理委員補充員

指名推選により選出

定例会の
あらまし



24年12月定例会は、12月4日
から20日までの会期で開きました。

▼4日(開会)

条例改正案、人事案件など、あわせて10件が提案説明され、そのうち、人事案件を可決しました。

▼10日(常任委員会)

総務民生・防災建設常任委員会が開かれ、議案3件の審査をしました。

▼13・14日(いっばん質問)

議員8人が、いっばん質問(13問)しました。

▼20日(閉会)

意見書案など7件が追加提案され、質疑・討論を行った後、すべての議案を可決し閉会しました。

条例改正・廃止を審議

蟹江第二学戸土地区画整理事業
施行に関する条例の廃止

(全員賛成)

土地区画整理事業完了
により条例廃止

昭和55年から行われ、在の学戸〇丁目)の清
ていました名古屋都市 算金徴収が完了したの
計画事業蟹江第二学戸 で、条例を廃止するも
土地区画整理事業(現) のです。

議会委員会条例の一部改正

議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正
議事会議規則の一部改正
証人等の実費弁償に関する条例の一部改正

(全員賛成)

地方自治法の改正に伴う改正

【議会委員会条例の改正】 範囲を条例に規定、議
正】委員の選任等に関 長がその透明性の確保
する事項が条例に委任。 に努める。

【議会政務調査費の交 本会議においても公聴
付に関する条例の改正

【「政務調査費」が「 会の開催や参考人の招
政務活動費」に名称変 致を規定。
更、使途にこれまでの その他条すれ等の整
調査研究に「その他の 備により改正するもの
活動」が追加、経費の です。

暴力団排除条例の一部改正 (全員賛成)

暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律の一部改正に伴い改正するものです。

この改正により暴力団を入札へ参加させない措置を講ずることが定められました。

海部地方消防通信指令事務協議会の設置 (全員賛成)

平成25年4月1日から津島市、愛西市、蟹江町、海部東部消防組合、海部南部消防組合が共同して消防通信指令事務を管理・執行するために協議会を設置するものです。通信指令施設を共同運用することにより、119番通報から出動までの時間や、大規模災害時における応援要請の時間が短縮されます。

意見書を提出

※意見書の取り扱い

町議会では、全会派一致で採択されたものだけが提出されることになっていきます。

◆安心して子育てできる制度の確立を求める意見書

◆任意予防接種の定期予防接種化を求める意見書

◆国へ提出
義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

選挙管理委員会委員の選出

任期満了(24年12月21日)に伴い、次の方々が指名推選の方法により選出されました。

選挙管理委員は、町内に選挙権を有し、人格が高潔で、政治及び

【選挙管理委員】

たなはし みちこ
棚橋美知子氏 (源氏一丁目)

【選挙管理委員補充員】

ごとう みつひこ
後藤光彦氏 (西之森八丁目)

伊藤 誠氏 (蟹江新田字蒲原)

加藤由勝氏 (城一丁目)

鈴木政勝氏 (舟入一丁目)

坪井幹善氏 (城四丁目)

吉川廣明氏 (今字川東上)

山田安代氏 (須成字柳ヶ瀬南ノ切)

補正予算を審議

会計別	補正額	補正後の額	審議結果
一般会計	9,592万円	89億9,127万7千円	全員賛成
特別会計			
国民健康保険事業	1億6,466万5千円	36億3,574万9千円	全員賛成
介護保険管理	額の増減は無く、項目内容を変更	18億7,134万8千円	全員賛成
後期高齢者医療保険事業	173万1千円	6億2,435万8千円	全員賛成

契約変更締結案を審議

契約名	蟹江町公共下水道事業下水道管 ぎよ布設工事本町海門処理分区 (その5) (変更なし)
契約金額	5,380万2千円 → 5,019万円
落札業者	清田軌道工業株式会社 名古屋支店 (変更なし)
審議結果	全員賛成

24年第3回(11月)臨時会

去る11月27日に、24年第3回臨時会が開催され、1議案が可決されました。

補正予算を審議

○一般会計補正予算

★補正額

1353万4千円

★補正後の額

88億9535万7千円 (全員賛成)

★内容

○衆議院議員総選挙費

平成24年12月16日に行われました衆議院議員総選挙に伴う経費です。

8人が

町政を問う!



「いっぱん質問」とは、議員が執行機関（町や町教育委員会など）に対し、一般事務全般にわたっての執行状況や将来の方針などについて、事実の説明を求めたり、または所見をたずねることをいいます。

12月定例会では、8人がいっぱん質問に立ちました。



日程第1
「一般質問」を行います。
順次発言を許可します。
〇〇君、質問席へ

Q 近鉄蟹江駅周辺開発 今後の方針は!

A 横江町長
やれるところから整備し、
できるところからやりたい



21 フォーラム 黒川勝好 (くろかわ かつよし)

名古屋駅から車でわずか10分の近鉄蟹江駅。南側はいつまでも市街化調整区域が続いている。

問 市街化に変更するにはどのような手続きが必要か。

志治まちづくり推進課長 地元の調整から始め、市街化編入する区域を決定、現況測量等を行い、全体的な整備計画案を作成した上で、県と都市計画手続きの事前協議を行う。次に都市計画決定図書を作成し、県、警察等と正式な協議を行い、県の告知行為により市街化編入が決定する。

問 市街化になった場合の地権者への影響は、**服部総務部次長** 路線価により違いはあるが、固定資産評価額が宅地は2〜3割、雑種地は9割、田畑では400〜500倍に上がる。

問 近鉄蟹江駅南改札口は以前から切望されている。橋上駅、高架の問題も含め、今後蟹江駅周辺開発をどのように進めていくのか。

横江町長 やらなければならぬ懸案はたくさん残っているが、やれるところから整備していきたい。



▲市街化調整区域が続く近鉄蟹江駅南側



無党派

やまだ しんたろう
山田新太郎

Q 続、駐輪場有料化反対

A 水野産業建設部長 土地は無料で貸与する

問 新駐輪場はどこか経営する予定か。また土地賃貸料はいくらか。
水野産業建設部長 運営は財団法人自転車駐輪場整備センターが行う。また、土地の賃貸は、町が無料で貸与するため、土地の使用料は発生しない。



▲建設中の仮自転車駐輪場

山田議員 工事代金を2億2千万円とされているが、蟹江中学校駐輪場が298台分で1280万円である。
私の試算では、1500台の予定としても、ロック代を含め7千万

円ほどで建設できる。仮に建設費を1億円としても、人件費を含め、月間費用は90万円ほどで、年間純利益が2千万円ほどになる。だから駐輪場有料化に反対する。もし百歩譲って有料化をするならば、駐車代金の値下げを強く要望する。



▲土地区画整理事業で整備された公園
(弥富市平島中土地区画整理事業)

問 最近10年間の蟹江町の人口推移は。また名古屋市周辺市町村の人口推移は。
山本政策推進課長 この10年間、蟹江町ではほとんど人口が増加していない。名古屋市周辺20市町村については19市町村が増加、1つは減少となっており、ほとんどの市町村で増加している。

問 人口を増加させるには市街化区域を増加させなければならない。①一般のアンケートで、各地区、市街化を求める意見はどれくらいあったか。②人口の増加している市町は、市街化を推進していると思うかどうか。

志治まちづくり推進課長 ①市街化編入に関する設問はなかったが、JR蟹江駅南、近鉄蟹江駅南、近鉄富吉駅南3地区ともに、自由意見の中で、市街化編入を望む意見が出されたことは事実である。②中川区の富田地区や弥富市の平島周辺で開発が行われており、いずれも市街化区域内における宅地開発となっている。

山田新太郎議員② Q ベッドタウン化、調整区域を市街化区域に A 市街化区域でなければ宅地開発できない 志治まちづくり推進課長

山田議員 農業を委託している農家はほとんどが赤字だ。農地の市街化を早急に推進するよう強く要望する。



おおはらたつひこ
清新 大原龍彦

Q 横江町長3期目続投を要請する

A 横江町長 住民の皆様と蟹江町政を一緒にやっていきたい

問 平成25年3月に町長選挙が行われる。2期目に公約した7Kの施策がほとんど実現され、住民の意見を生かそうと毎年町づくりミーティングを行い、町運営が着実に実行されている。下水道の供用開始、JR蟹江駅北區画整理事業、各小学校の耐震補強、給食センター、蟹江南保育所の建設、第4次総合計画の策定等、町政を推進し、住民・議会・行政が一体となって取り組んでおられる横江町長の3期目継続を要請する。町長のご所見とご意見を伺う。

横江町長 17代蟹江町長としての自己評価は、まだまだ大変未熟であると感じ自身理解している。まだまだ整備等進んでいない部分もあり、やり残したこと、これから住民の皆様と一緒にやっていかなければならないことが山積みしているのも事実である。もう一度皆様方に力添えをいただければ、平成25年3月の選挙に出馬し、住民の皆様と蟹江町政を一緒にやっていきたい。地方自治体として、地域の連携にしっかりと努め、住民サービスをより一層邁進していく。



▲平成23年度まちづくりミーティング (須成地区にて)

問 須成駐在所の交差点から北の点滅信号まで舗装が傷んでおり危険である。改修の見込みはあるか。

西川産業建設部次長 現在は応急的に修理を行っているが、原因調査、修繕は舗装業者と作業時期、内容等を検討しているのもう少



▲今須成線の点滅信号

し時間を頂きたい。

問 車の通行量が多く点滅信号を普通の信号機に変えることはできないか。

西川産業建設部次長 以前にも設置要望があったが、設置は難しいと回答があった。町、地元と一緒に再度公安

委員会をお願いしたい。

問 駐在所の交差点から点滅信号まで57軒の地権者1軒ずつ歩道設置の説明と1メートルずつの用地をお願いし、全員の方にご理解して頂き、承諾書を付けて須成区から町へ陳情書を出した。今須成線の道路整備の早期実現のため今後の事業計画について伺う。

西川産業建設部次長 10年以上手つかずでまことに申し訳なく思い、関係各位の努力に感謝し、陳情書の重みを肝に銘じて、早急に実現できるよう誠心誠意頑張っていく所存である。

大原龍彦議員②

Q 今須成線の道路整備の促進を

A 西川産業建設部次長

誠心誠意頑張っていく所存である



新生クラブ 伊藤 俊一

Q 今須成線の進捗と見通しは！

A 横江町長 後ろ向きに考えるのではなく 第一優先で考える



▲ 拡幅が望まれる今須成線

問 今地区の買収をいつまでに完了するのか
水野産業建設部長 平成28年、29年をめどに用地買収が完了する予定を立てている。

問 須成の駐在より北への拡幅に対し数回の質問をしてきた中で、地権者に対して須成区長寺西靖忠氏が1軒1軒訪問をし、拡幅工事に対する承諾書を取りまとめられたが、いつまでに着工をするのか
水野産業建設部長 来年度用地測量の実施を予定しており、土地の買収面積を確定した上で、工事着手の第一歩

とさせていたいただきたい。
横江町長 来年度骨格予算しか組めず、前向きに進めるとしか言えない。後ろ向きに考えるのではなく第一優先に考える、このことだけご理解いただきたい。

問 死亡事故を無くすための対応が遅れている今須成線と天王線の交差をする点滅信号を普通信号に至急変えるべきと考えているが、いかがお考えか！
横江町長 3人の尊い命が失われたという事実を踏まえ、しっかりと早急的に行う必要がある。

問 中瀬台町内会長景山会長はじめ役員さん組長さんの努力と協力により、町に対して陳情書及び誓約書が出さ

う交渉中である。
水野産業建設部長 事業推進の第一歩となる用地の確保ができた。平成5年と同じような県施行で地盤沈下対策事業の一環として工事を進めていただけるよう交渉中である。

問 護岸工事はいつ頃終了する予定か！
水野産業建設部長 県

れていると聞いているがご存知か！
水野産業建設部長 平成24年11月30日、町内会長からの陳情書と合わせ、それぞれの組の常任役員、組長の連名で町長同席のもと誓約書を受け取った。

との交渉は完全ではないので明確にお示しできないが、早い時期に工事着手していただけるよう鋭意交渉を進めていきたい。
横江町長 やつと県に要請できる土壌ができた。県に直接お願いに行き、「来年度は予算措置をさせていただき」と心強いお言葉をいただいた。



▲ 中瀬台地域の佐屋川沿い護岸

Q 佐屋川の底地の購入と護岸工事に付いて

A 横江町長 やつと県に要請できる土壌ができた



21 フォーラム **きくち ひさし** 菊地 久

Q 「開かずの踏切」イライラ解消 JR線近鉄線の高架化に全力を

A 志治まちづくり推進課長 相互理解のもと協力をお願いしたい



▲「開かずの踏切」になる近鉄蟹江駅東踏切

列車がひっきりなしに通るためなかなか遮断機が上がらず、いったん上がってもすぐ下がってしまう「開かずの踏切」問題を解消するためには、鉄道高架化や線路をまたぐ陸橋の建設が必要であるが、実現には予算、土地等多くの問題がある。

問 現状の報告と併せて近鉄南側改札口の交渉内容は。

志治まちづくり推進課長 近鉄とこの1年間勉強会をさせていた。南側改札口の問題だけにとらわれず将来的な駅周辺整備構想を協議し、具体化に向

けて相互理解のもと協力をお願いしたい。

問 東郊線の県道格上げと拡幅計画の見通しは。

水野産業建設部長 格上げは単一路線での判断ではなく、体系的な判断を要することとなるため、周辺の整備状況を見据え、今後も要望活動を行っていく。

問 実現に向けて高架化促進対策会議や協議会を発足させる考えは。

横江町長 町民との協働を一番の基本にやっ

問 名古屋市合併について町長は反対ではない、議会と町民の民意に従う、政治姿勢に問題を感じるが、「あま、大治、蟹江、飛島まちづくり連携会議」の尾張名古屋共和国構想との関連や、その目的と活動方針は。

横江町長 1市2町1村が合併を目的に作った会ではない。これか



▲名古屋市に沿う「あま、大治、蟹江、飛島まちづくり連携会議」参加団体

問 まちづくりミーティングで合併に関する様々な意見が出された

ら名古屋として本当に一緒になれるのか、市場実験としてやっていきたい。最終的に合併という結果が出ようがしっかりとした根拠を持って進めていく、そういう連携会議だと思っていたきたい。

問 国政選挙、名古屋市の動向、政治情勢の変化に対応できるか決意と決断を求める。

横江町長 「キラッとかにえ 明るい未来が見えるまち」このスロガンのもと、第4次総合計画を中心として進めていきたい。

Q 菊地 久議員② 名古屋市合併に向かつて決断の時どうする横江町長

横江町長

A 名古屋市が「蟹江ならいいぞ」というような素晴らしい町にしていきたい

が町長答弁はリーダーシップが感じられないがなぜか。

横江町長 現実にタウニングでいろいろお話し合いをさせていた。地域の連携をどんどん図り、名古屋市が「蟹江町ならいいぞ」というような素晴らしい町にしていきたい。



公明党 松本正美

Q 介護支援対策の充実を図れ

A 佐藤民生部次長
できる限り早く支援に結び付けていく体制を進めていきたい



▲男性の介護支援対策を図れ

問 高齢化に伴う認知症の増大と、その世話や介護を誰がするかという問題がクローズアップされている。そこで、①認知症に関する総合的相談体制の充実を図れ。②男性介護支援対策を図れ。

佐藤民生部次長 ①セ

問 介護支援、利用者の負担軽減の受領委任払い制度の導入を図れ。
佐藤民生部次長 現場の声を聞き、できる限りの改善を行いたい。償還払いを進めたい。

ンター的なものは考えていない。各所での相談をできる限り早く支援に結び付けていく体制を進めていきたい。

②家事・介護に関する課題、介護と仕事の両立に関する課題がある

介護者の相談、情報交換などを行い、問題を抱え込まず孤立化しない

問 地域の中で、高齢者を支え合う体制づくりが求められている。介護ボランティア制度の導入を図れ。
佐藤民生部次長 県や社会福祉協議会とも協力して、介護の現状や支援の必要性について啓発しながら考えていきたい。

松本正美議員②

Q 子育て支援の充実強化を図れ

A 鈴木子育て推進課長
蟹江南子育て支援センターが今後の子育て支援の拠点と考えている

問 本町の子育て支援センターが2箇所になった。子育て支援センターの拠点としての機能の充実と強化を図れ。また地域の子育て支援としての子育て支援ネットワークの設置はあるか。

鈴木子育て推進課長 蟹江南子育て支援センターは蟹江児童館にあり、児童館の中にはファミリーサポートセンターも兼ね備えているので、今後の子育て支援の拠点と考えている。子育て支援ネットワークの関係は、子育て支援センター内にサークル等ができていますと聞いている。それらと連

携を取り、今後研究していく必要がある。

問 子ども子育て関連3法が成立した。そこで、①地方版子ども子育て会議の設置を示せ。②子育て支援法の制定により事業計画が求められている。策定に向けニーズ調査の予算を

図れ。
鈴木子育て推進課長

①地域の子どもや子育て家庭の実情を十分に踏まえて、今後検討していくよう考えている。②子育て事業計画は平成25年度の新規事業と位置づけされており、6月補正予算で計上する予定である。



▲親子で賑わう蟹江南子育て支援センター



清新 さとう しげる 佐藤 茂

Q 近鉄富吉駅南地区の開発を問う

志治まちづくり推進課長

A 地権者や住民の事業に対する理解と協力に尽きる

問 区画整理事業を行い市街化することについて、①メリット、デメリットは。②何が一番難しいのか。③施行者をどうするのか。

志治まちづくり推進課長 ①メリットはコミニティが生かされ、道路、公園、ライフラインが整備される。デメリットは優良農地が失われ、換地により面積が小さくなる。②地権者や住民の事業に対する理解と協力に尽きる。③市街化率が高い地区では町施行、移転する建物が少ない新市街地では組合施行が適している。



▲中学校の部活動で使用している旧蟹江高校跡地グラウンド

問 近鉄富吉駅南地区を開発するにあたって、水害対策についてどのように考えているのか。

志治まちづくり推進課長 一時的に雨水などを貯める調整池を整備し、浸水被害から地区を守る手だてを施す。

問 この地区を開発する上で旧蟹江高校跡地をどの様に活用していくのか。

伊藤政策推進室長 南校舎は避難場所としてグラウンドは町の行事の優先使用を条件として、愛知大学へ期間を決めて貸せないか考えている。



清新 あんどうよういち 安藤 洋一

Q 蟹江町の水害対策を問う

岡村安心安全課長

A 素早く救助できる体制を構築していきたい

問 日光川左岸堤防が雨天後に漏水しているが、地震時など強度の問題は無いのか。また、右岸堤に比べ細いが大丈夫なのか。なぜ細いのか。

西川産業建設部次長 堤防本体の強度に係る現象ではなく問題ない。右岸は防災道路機能があるため広くなっており、左岸堤防の強度は確保されている。

問 台風17号では源氏地区のあちこちで道路冠水している。役場はこの状況を十分に把握しているのか。頻繁に起こる水害に対して早



▲平成24年8月の豪雨で冠水した道路

急な改善を求める。

西川産業建設部次長 抜本的な排水経路の見直し計画とは別に、バロー西側排水路を大きくして冠水が少しでも起きないような工事を施工する。

問 実際に避難勧告を出した時の救助計画や方法は確立しているのか。

岡村安心安全課長 防災倉庫などに配備してあるゴムボートを活用するほか、今後、各消防団詰所にゴムボートなどの配備も考え、素早く救助できる体制を構築していきたい。

ゼンギョ レポート

「ゼンギョ」とは、「議員全員協議会」の略称と呼ばれ、主に定例会の会期中に開かれている会議のことです。

この会議では、町が将来議決を予定される問題や議案として取り上げるにはなじまない重要な施策などについて、町側から報告を受け、議員はそれに対して、自由に意見や要望をしています。



▲送信所となる中部電力蟹江電力所通信無線鉄塔

コミュニティFM放送局について

○コミュニティFM放送とは

地域に密着した情報を提供するため平成4年1月に制度化されたFM放送であり、地域の特色を活かした番組などを通じて地域のきめ細かな情報を発信することができま

○背景・経緯

コミュニティFM放送は、東日本大震災などにおいて情報伝達の一つとして大変重要なコミュニケーションツ

ールとして認識されています。

南海トラフ巨大地震が心配されるこの地域において、さらなる防災対策が求められている状況の中、昨年の秋頃より津島市・愛西市・弥富市・あま市・大治町・蟹江町・飛島村の7市町村長の話し合いにおいて、海部地区を一体とした「コミュニティFM放送局」を開局し、情報伝達の多様性を図り住民の安全と安心の確保に繋げていきたいとの思いから、平成25年4月開局に向けた準備を進めてい

ます。番組内容は、「生活情報番組」「行政情報番組」「教養・教育番組」などを予定しており、特に自治体が関係する「行政情報番組」では防災関連情報などを発信する予定です。また、災害発生時には

緊急放送として迅速に災害情報を住民に知らせる大変重要な伝達手段として機能します。

・事業主体

西尾張シーエーティーヴィ(株)

・送信所

中部電力蟹江電力所通信無線鉄塔

・放送エリア

海部地区7市町村

・放送時間

24時間放送

蟹江町防災マップについて

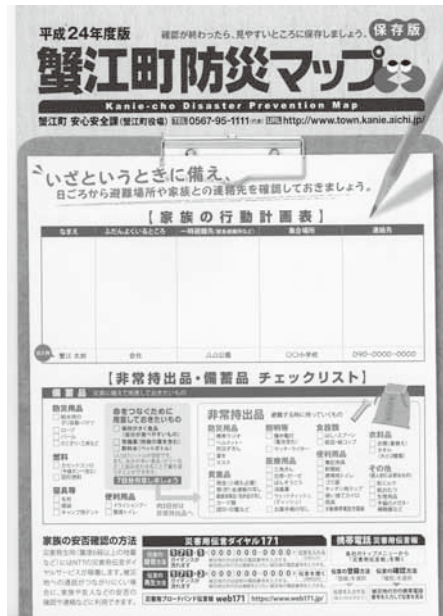
○防災マップとは

町民の皆様に、防災意識の高揚や予想され

ている大規模災害に備えていただくことを目的としています。災害発生時に的確な行動が取れるよう、平成14年度に作成した防災マップを更新し、平成24年12月に配布しました。

○主な記載内容

- ・家族の行動計画書
- ・非常持出品・備蓄品チェックリスト
- ・安否確認の方法(災害伝言ダイヤル17)
- ・1・災害用掲示板
- ・蟹江町標高マップ
- ・避難所一覧
- ・避難するときの心得



▲全戸配布した蟹江町防災マップ

常任委員会の審査

総務民生

蟹江町証人等の実費弁償に関する条例

問 これまでに蟹江町議会で証人喚問はあったのか。

加藤総務部長

百条委員会など委員会での証人喚問はあったが、本会議での証人喚問はなかった。

防災建設

名古屋都市計画事業蟹江第二学戸土地区画整理事業施行に関する条例の廃止

問 換地処分が大体終了し、清算金が終わったが、どれくらいの数がかかったのか。

志治まちづくり推進課長

平成18年度から平成23年度に至る6年間で清算金の徴収事務が終了した。

尾張温泉、東海センターの 継続に関する要望書を提出



平成24年12月20日、正副議長と会派代表者で、尾張温泉観光ホテルを経営する東放企業株式会社取締役社

長加藤康雄様に「尾張温泉、東海センターの継続に関する要望書」を提出しました。これは尾張温泉観光ホテルが平成25年1月、併設する演芸ホールも同年3月に閉鎖し、日帰り温泉施設の建て替えが検討されているため、蟹江町の素晴らしい観光資源である温泉の灯を消すことなく、今以上に温泉を楽しみ、親しんでいただけるよう次世代型温泉施設建設を強く要望したものです。

議会基本条例制定に向け、 半田市議会を行政視察

去る平成24年11月9日、議会基本条例制定にあたり、先進地視察として10名の議員出席のもと、半田市議会へ行政視察に行きました。



事前資料に基づく質疑応答時間には、蟹江町議会議員から活発な質問がなされ、予定時間を大幅に経過してしまうほどでした。今後、議会基本条例を制定するにあたり、大いに役立つ視察内容でありました。

静岡県御前崎市を視察 中部電力浜岡原子力発電所の津波対策の 現状と御前崎市の防災対策を学ぶ



清新

平成24年11月28日、29日に浜岡原子力発電所と御前崎市役所を視察しました。最初は、浜岡原子力発電所を訪ね、地震津波対策の考え方と現状及び今後を学びました。耐震強度は十分あるものの津波対策が不十分な為、政府要請により発電機は全機停止状態にあり、津波対策工事が施設全域で行われていました。海拔18メートルに及ぶ巨大な防波壁はほぼ完成しており工事は着々と進んでいました。次に、御前崎市役所を訪ねました。防災先進地の当市にはさまざまな防災関連施設が建設され、対策も充実していました。原子力防災センターや津波避難タワーが設置され、国や原子力事業者との連携も確立されています。防災体制については蟹江町も見習う点が多いと感じられました。

京都市中京区、京都府京田辺市を視察 祇園祭の保存状況と子育て支援総合施設 の内容、区画整理事業を学ぶ



新生クラブ・公明党・無会派

平成24年11月13日、14日、京都市へ赴き祇園祭町衆と子育て支援総合センターこどもみらい館、京田辺市市区画整理事業を視察しました。まず、須成祭が国の重要無形民俗文化財に指定され、保存に対する人々や町内、行政とのかかわりを参考にするため、祇園祭町衆の藤井家を訪問し、山鉦の保存方法やその苦勞をお聞きしました。祭に際して行政からの口出しは無く、補助金を出すのみとのことでした。次に、こどもみらい館を訪ねました。この施設は乳幼児の子育て支援の総合推進拠点として、担当省庁等の垣根を越え教育・福祉・保健医療が三位一体となった他県にはない総合施設となっております。一般開放をしており、常時300名のボランティアを確保しているのが印象的でした。また、蟹江町と同じJRと近鉄が通る京田辺市三木木地区区画整理事業を視察しました。



編集後記

梅の花の匂いが聞こえる今日この頃です。政権が交代し、新しい方向へと国が進み始めています。蟹江町議会も議会及び議員のあるべき姿を求め、議会基本条例の制定に向け動き出します。この新しい議会制度づくりに向け、全議員で頑張ります。町民の皆様のご支援の程、宜しくお願い申し上げます。(山)

3月定例会の日程

議会放映
一般質問の様子をクローバーTVで生放映。当日午後7時から再放映も実施!

1日(金) 開会	12日(火) 11日の予備
4日(月) 1日の予備	14日(木) 予算審議
6日(水) 常任委員会	15日(金) 14日の予備
11日(月) 一般質問	18日(月) 最終日

※議事の都合により日程は変更になる場合があります。
※赤字の会議は傍聴することができます。傍聴席は役場3階にあります。
【問い合わせ】3階議会事務局 電話(95)1111(代表) 内線301・302